

中山間地域対策 (農村RMO形成推進事業等) 推進のための地域分析



令和6年4月

農林水産省
中国四国農政局

1. 分析の目的

本分析では、中山間地域対策（農村RM0形成推進事業等）の事業推進地区の一つである岡山県真庭市を対象として、少子高齢化や人口減少、農業経営体数の変化など、地域の現状・特徴をマップ化（可視化）し、農政局から市町村や地元に対する説明や、中山間地域対策に関する計画立案、事業検証、改善活動等に資することを目的とする。

2. 実施した分析テーマ

- (1) 一般世帯数の変化（平成27年→令和2年）
- (2) 人口の変化（令和2年→2040年（推計））
- (3) 年少人口の変化（令和2年→2040年（推計））
- (4) 農業経営体数の変化（平成27年→令和2年）
- (5) 農業経営体の特徴（農産物販売金額、令和2年）
- (6) 農業集落毎の寄り合いの開催状況（令和2年）
- (7) 農業集落毎の行っている地域活動（令和2年）

3. 使用したデータ

- ・地域の農業を見て・知って・生かすDB
農林業センサス（2015年、2020年）
国勢調査（2015年、2020年）
将来推計人口（2040年）

注：1 3ページ以降について、表題に『集落協定単位で集計』と記載しているものは、農林業センサスの農業集落毎のデータを可能な限り中山間地域等直接支払制度の集落協定範囲で集計して表示している。

2 7ページ目右側の農産物販売金額（試算）については、農産物販売金額規模の各階層の中間値を用いて試算した結果である。

【地域の農業を見て・知って・生かすDB】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/index.html

- ・国土数値情報
市町村役場等及び公的集会施設（ポイント）
医療機関（ポイント）
学校（ポイント）
燃料給油所（ポイント）

【国土数値情報ダウンロードサイト】

<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

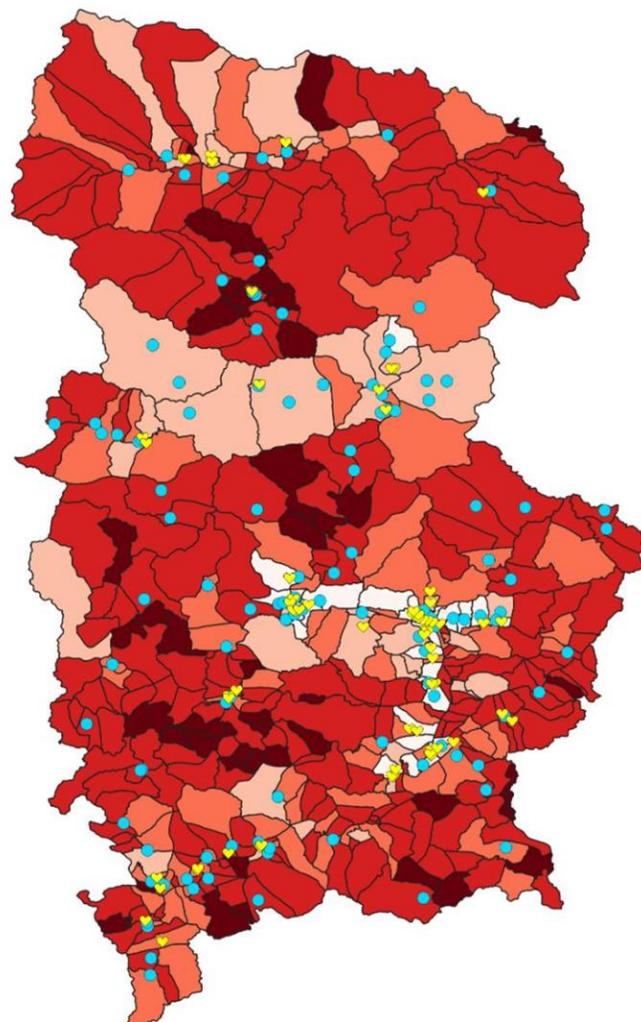
上記データをGIS（地理情報システム）の一つである『QGIS』を用いてマップ化。

【本資料の問合せ先】 中国四国農政局統計部統計企画課
電話：086-224-4511（内線2722）

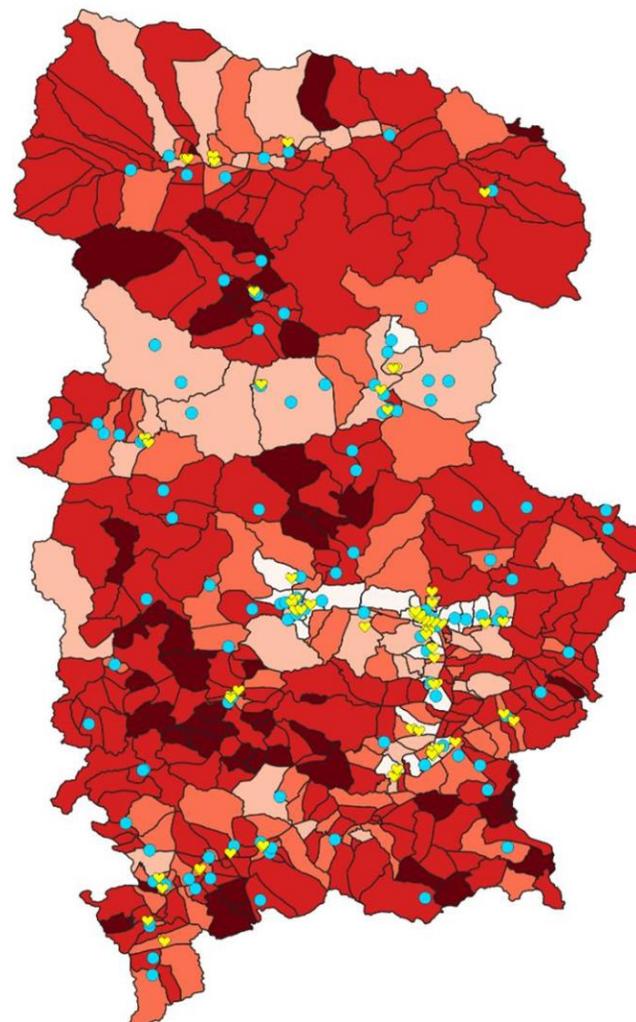
岡山県真庭市 一般世帯数の変化（集落協定単位で集計）

- ・平成27年から令和2年の5年間の間に、世帯数が10戸未満の集落が5集落増加している状況。
- ・医療機関や役場・公的集会所所在地から遠い場所に世帯数が10戸未満の集落が所在している傾向が確認できる。

平成27年(2015年)



令和2年(2020年)

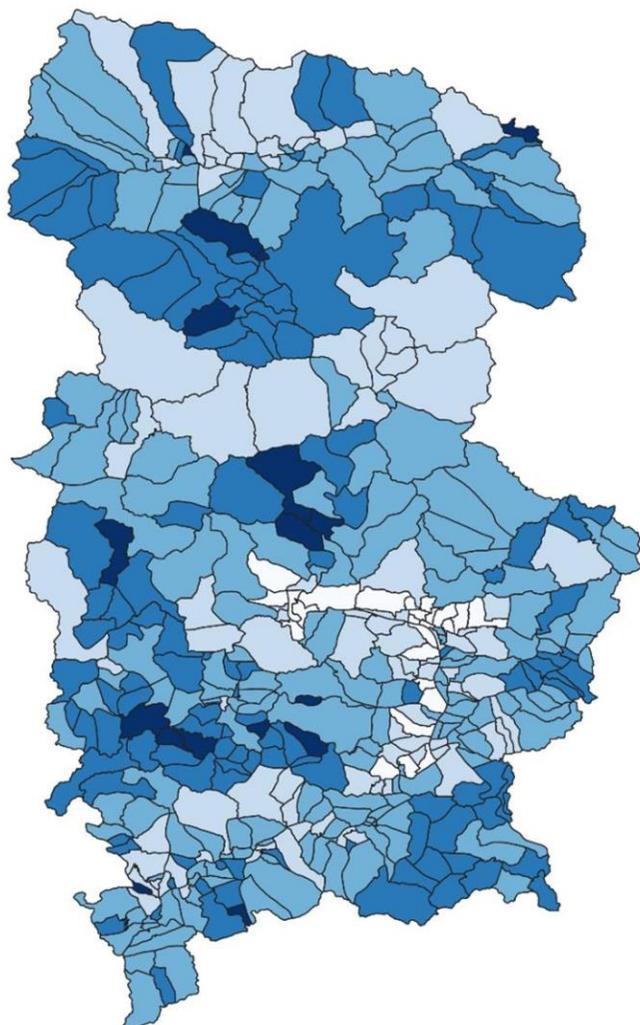


- ◆ 医療機関所在地
- 役場及び公的集会所所在地
- 10世帯未満
- 10 - 30世帯未満
- 30 - 50世帯未満
- 50 - 100世帯未満
- 100世帯以上

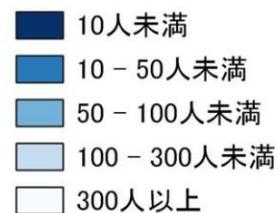
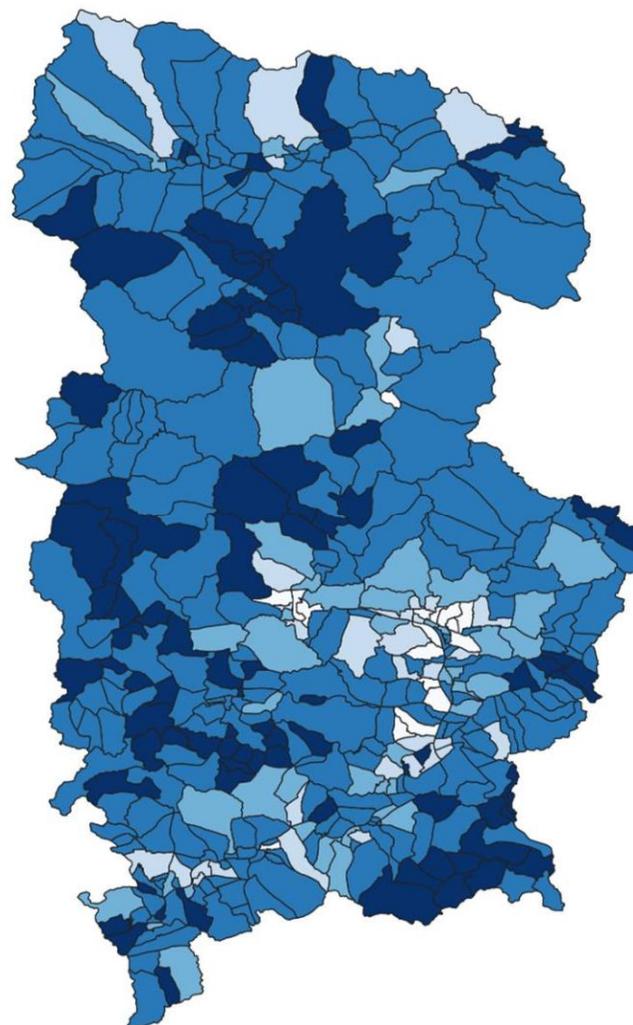
岡山県真庭市 人口の変化（集落協定単位で集計）

- ・令和2年の時点で人口が10人未満の集落が17集落あるが、2040年の将来推計人口では90集落まで増加。
また、90集落のうち半数強が人口5人未満の集落という推計結果となっている。

令和2年(2020年)



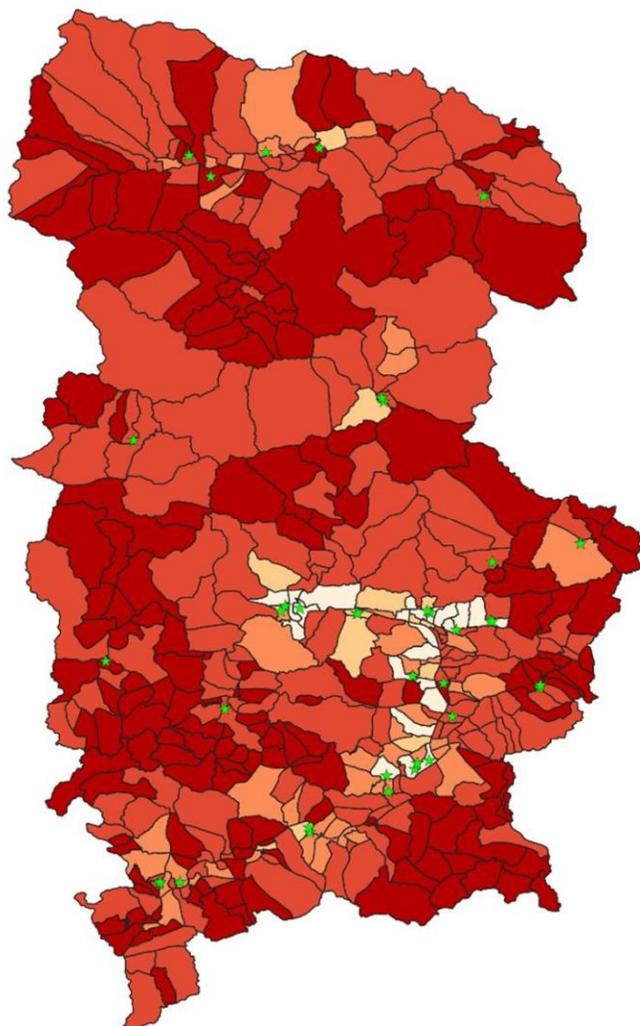
2040年(推計)



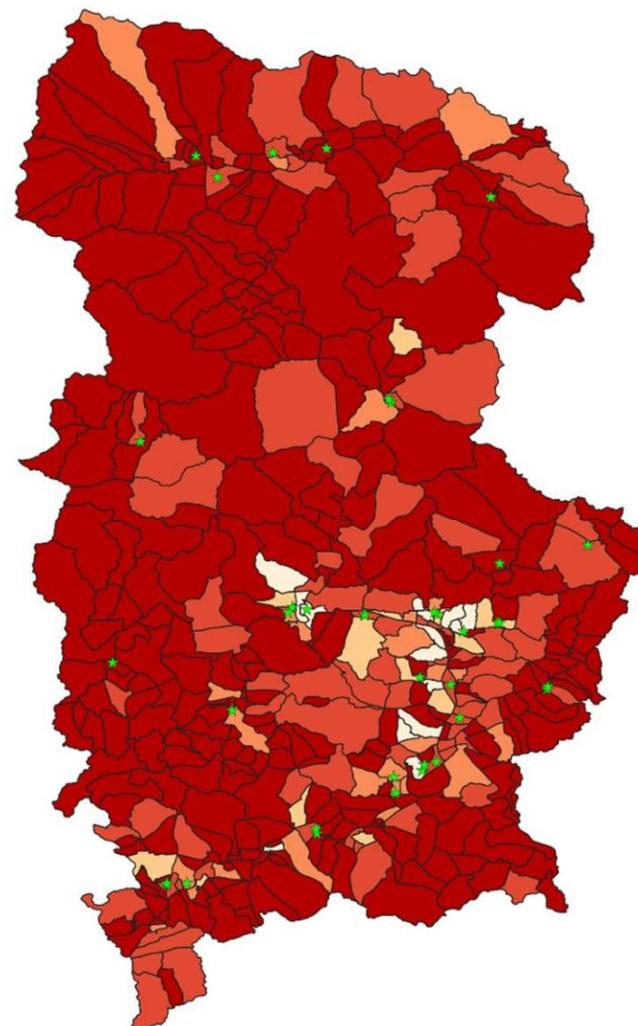
岡山県真庭市 年少人口の変化（集落協定単位で集計）

- ・令和2年の時点で年少人口が5人未満の集落が173集落あるが、2040年の将来推計人口では293集落まで増加。また、そのうち141集落が年少人口0人という推計結果となっている。

令和2年(2020年)



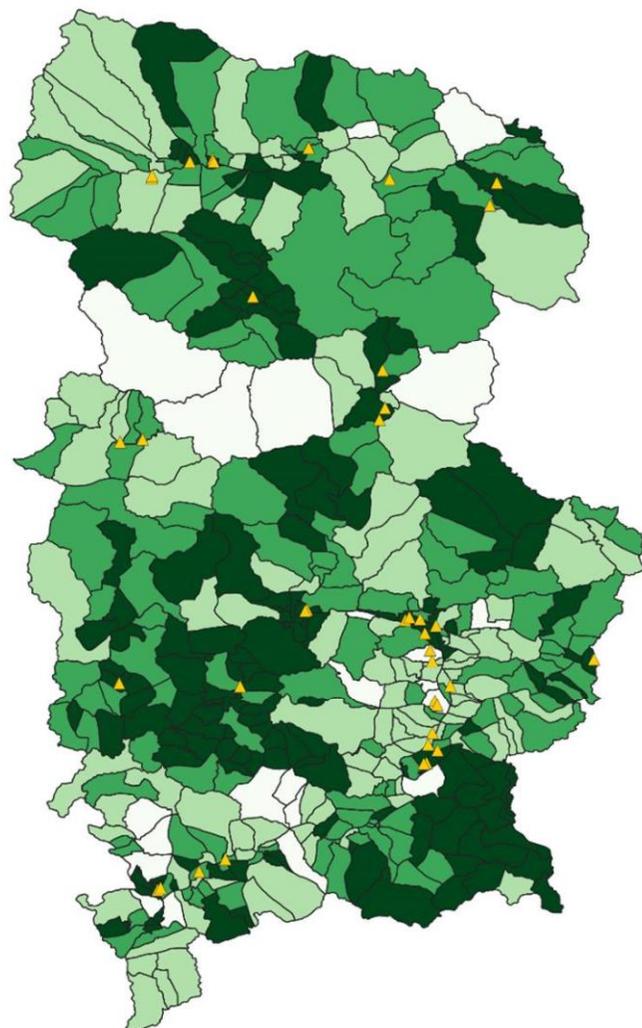
2040年(推計)



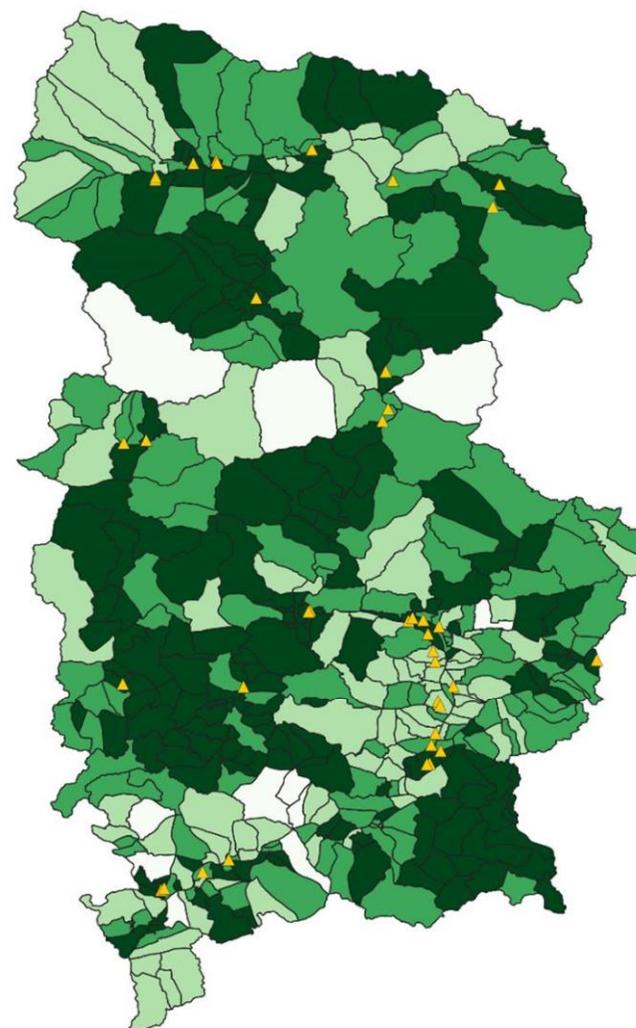
岡山県真庭市 農業経営体数の変化（集落協定単位で集計）

- 平成27年から令和2年の5年間の間に、農業経営体数が5経営体未満の集落が20集落増加している状況。また、農業経営体が所在していない集落が45集落存在している状況。

平成27年(2015年)



令和2年(2020年)

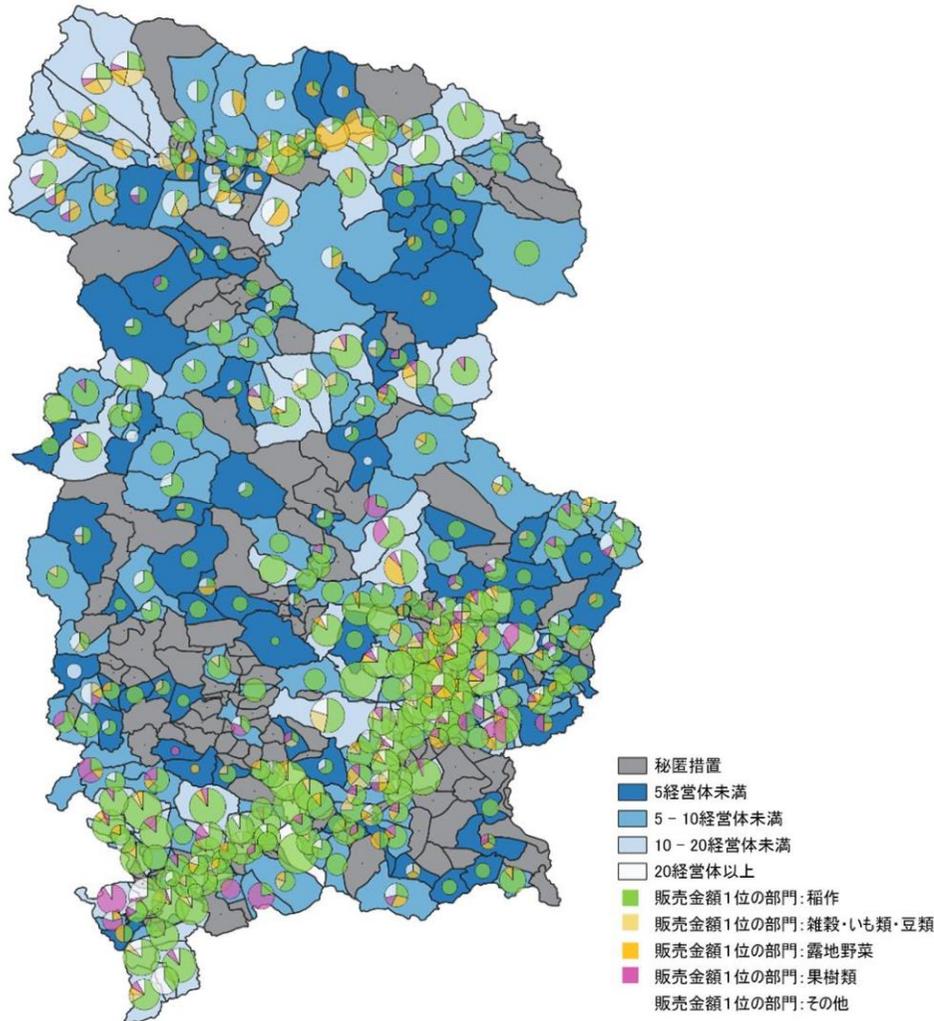


- ▲ 燃料給油所所在地
- 5経営体未満
- 5 - 10経営体
- 10 - 20経営体
- 20経営体以上

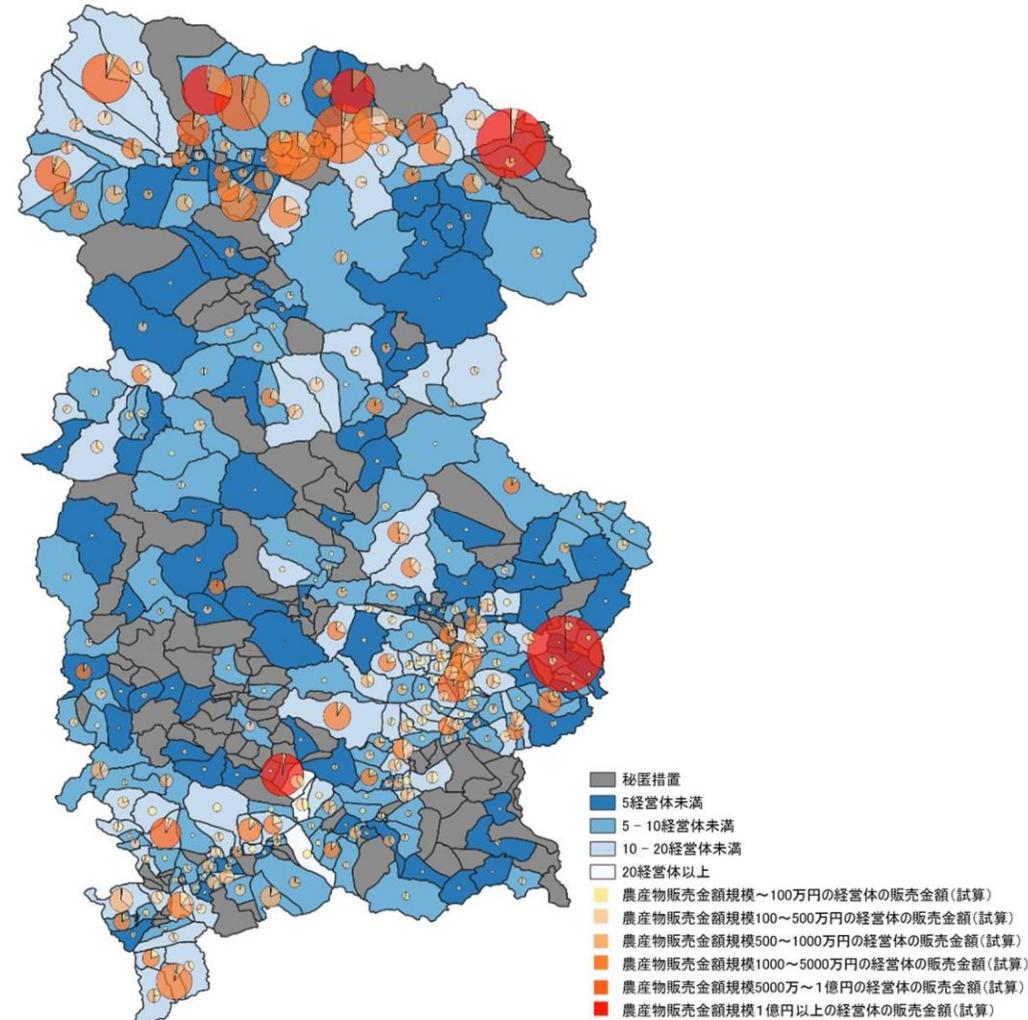
岡山県真庭市 農業経営体の特徴（令和2年）

- ・真庭市の南部エリアでは水稻が販売金額1位の経営体が多い一方で、蒜山高原が広がる北部エリアでは露地野菜が販売金額1位の経営体が多い状況。
- ・また、北部エリアにて農産物販売金額規模の大きい経営体が所在していることが特徴。

農産物販売金額1位の部門別経営体数



農産物販売金額（試算）

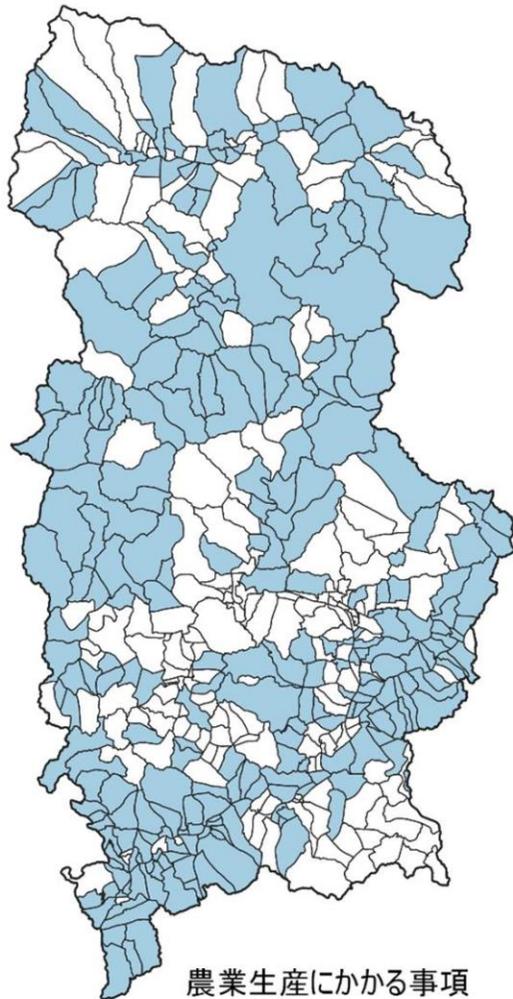


出典：農林水産省 地域の農業を見て・知って・活かすDB「農業経営体__農産物販売金額1位の部門別経営体数」

出典：農林水産省 地域の農業を見て・知って・活かすDB「農業経営体__農産物販売金額規模別経営体数」より試算

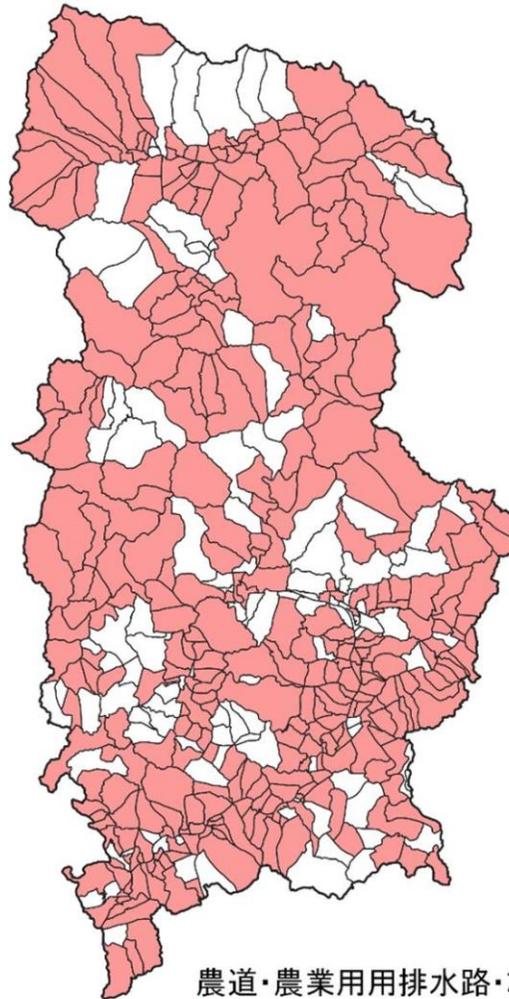
農林業センサス結果による農業集落毎の寄り合いの開催状況

- ・ 寄り合いを開催している農業集落（全農業集落、444集落のうち424集落）では、寄り合いで幅広い議題が扱われている。
- ・ 一方、寄り合いが開催されていない集落が20集落あり、開催していても回数が5回以下という集落が全体の46%を占める状況。



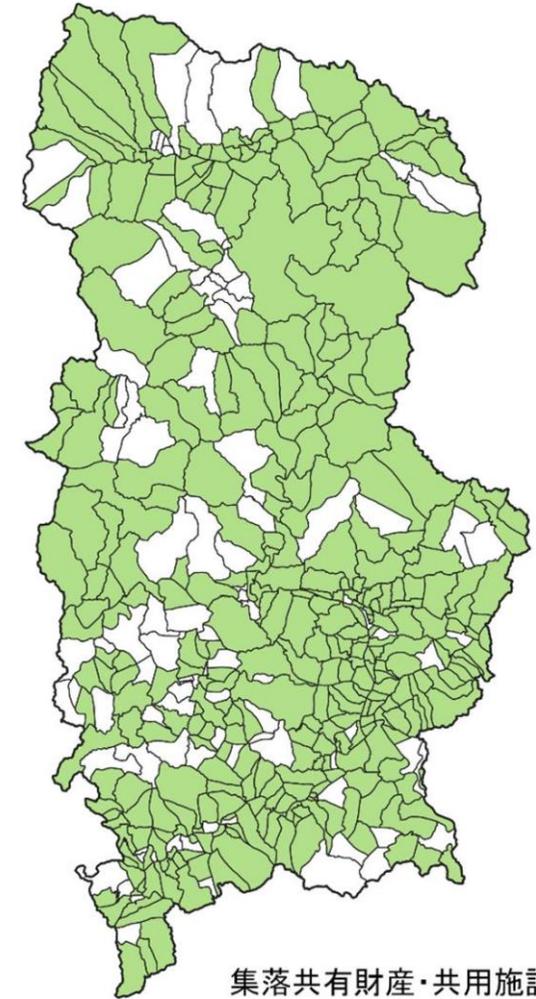
農業生産にかかる事項

■ 活動あり
□ 活動なし



農道・農業用排水路・ため池の管理

■ 活動あり
□ 活動なし



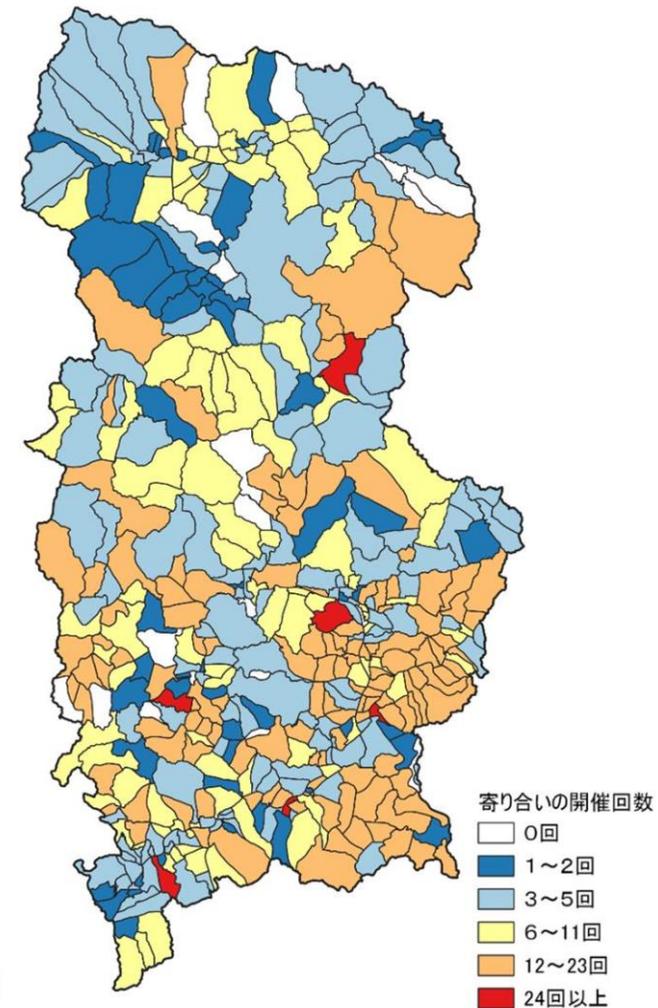
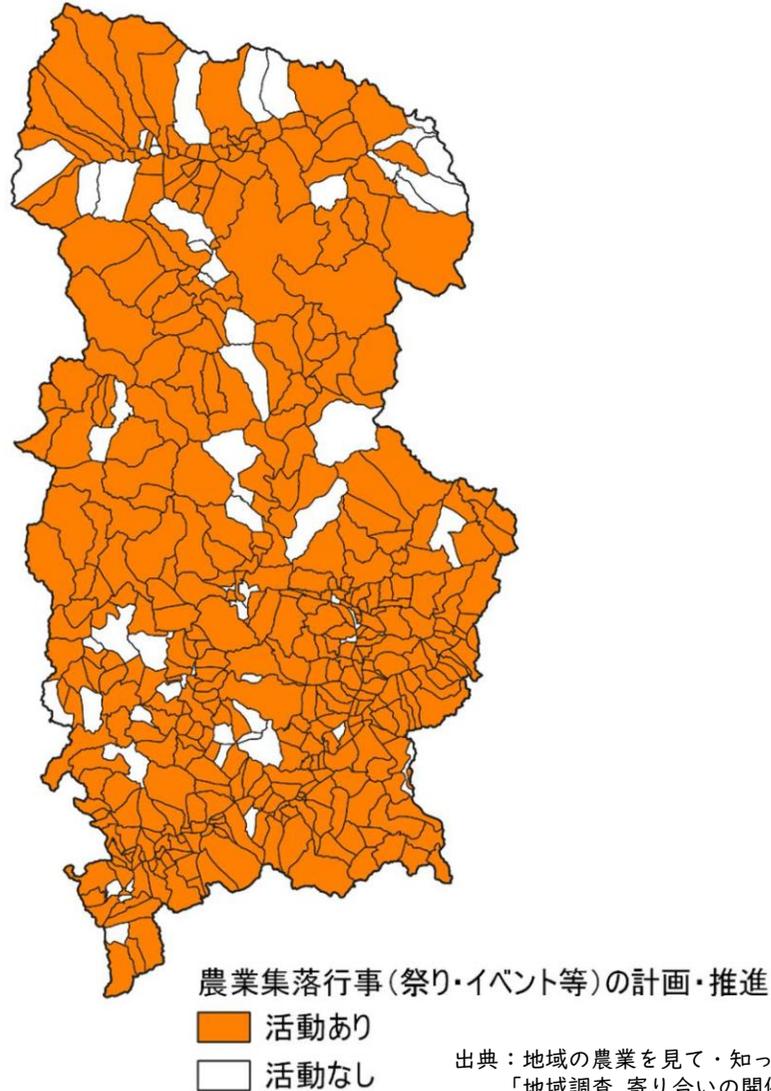
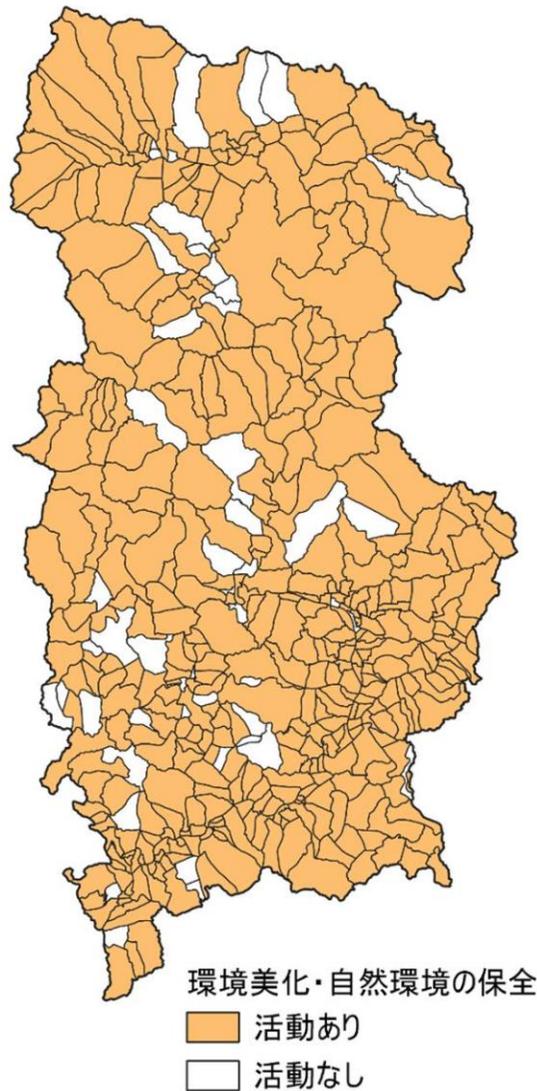
集落共有財産・共用施設の管理

■ 活動あり
□ 活動なし

出典：地域の農業を見て・知って・活かすDB
「地域調査_寄り合いの開催状況（2020年）」

農林業センサス結果による農業集落毎の寄り合いの開催状況

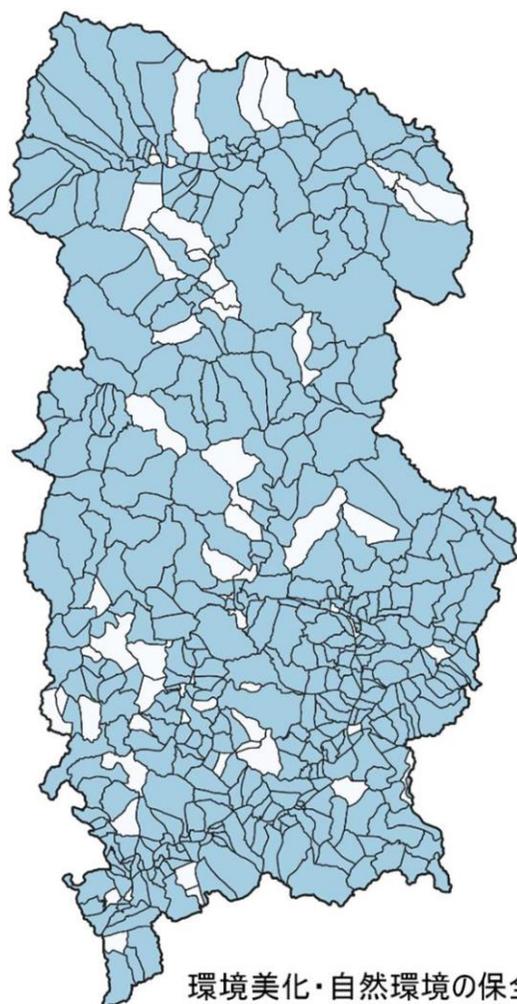
- ・ 寄り合いを開催している農業集落（全農業集落、444集落のうち424集落）では、寄り合いで幅広い議題が扱われている。
- ・ 一方、寄り合いが開催されていない集落が20集落あり、開催していても回数が5回以下という集落が全体の46%を占める状況。



出典：地域の農業を見て・知って・活かすDB
「地域調査_寄り合いの開催状況（2020年）」

農林業センサス結果による農業集落毎の行っている地域活動

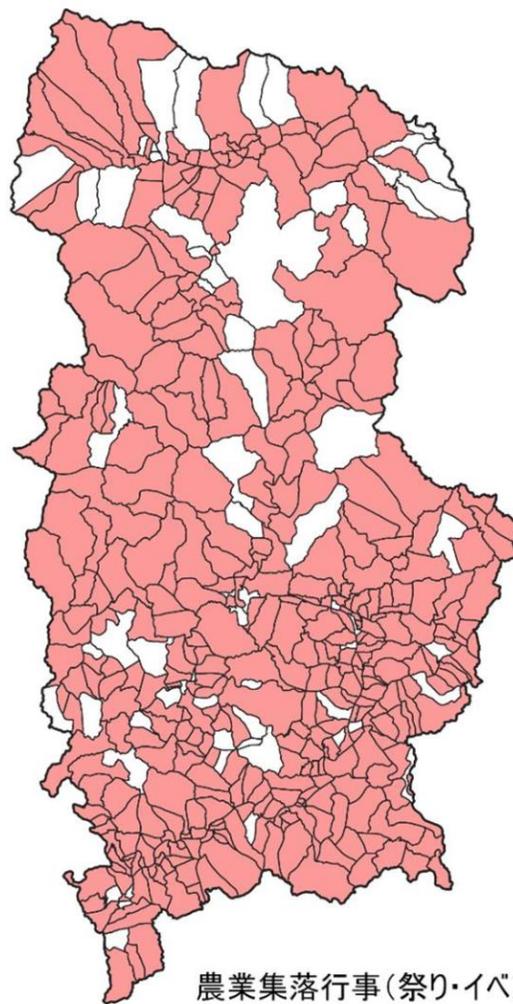
・行っている地域活動について、環境美化・自然環境の保全、農業集落行事、集落内の福祉・厚生については多くの集落で活動が実施されている一方で、定住の推進、グリーン・ツーリズム、6次産業化、再生可能エネルギーの取組を実施している集落は少数に留まっている状況。



環境美化・自然環境の保全

■ 活動あり

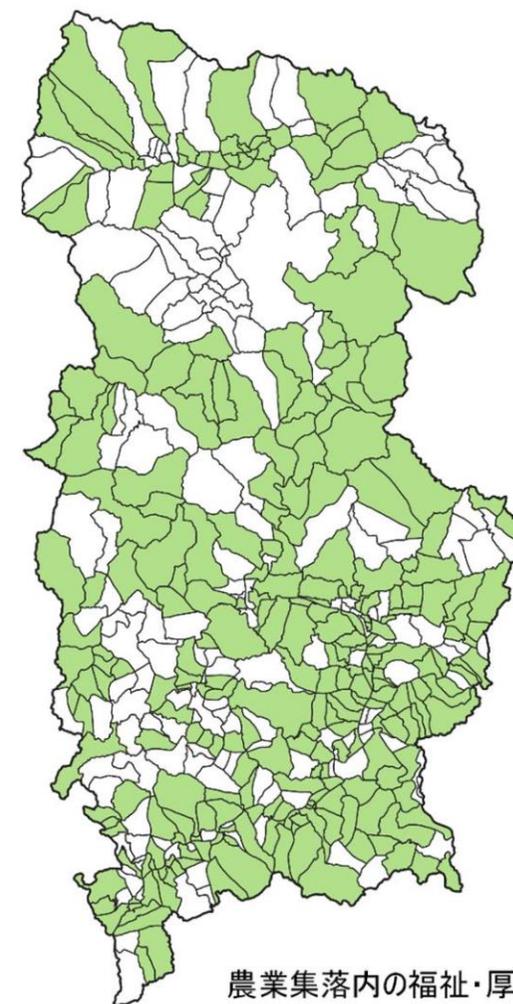
□ 活動なし



農業集落行事(祭り・イベントなど)の実施

■ 活動あり

□ 活動なし



農業集落内の福祉・厚生

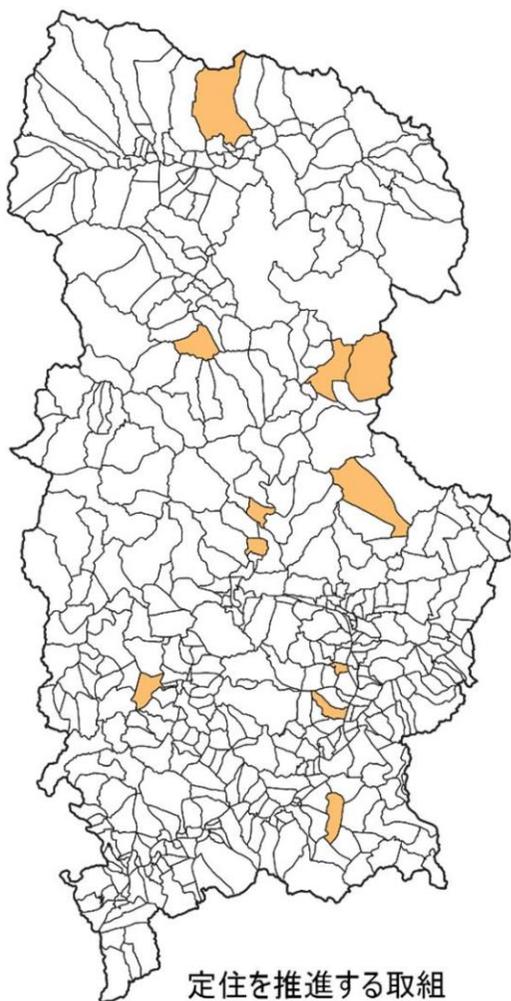
■ 活動あり

□ 活動なし

出典：地域の農業を見て・知って・活かすDB
「地域調査_寄り合いの開催状況(2020年)」

農林業センサス結果による農業集落毎の行っている地域活動

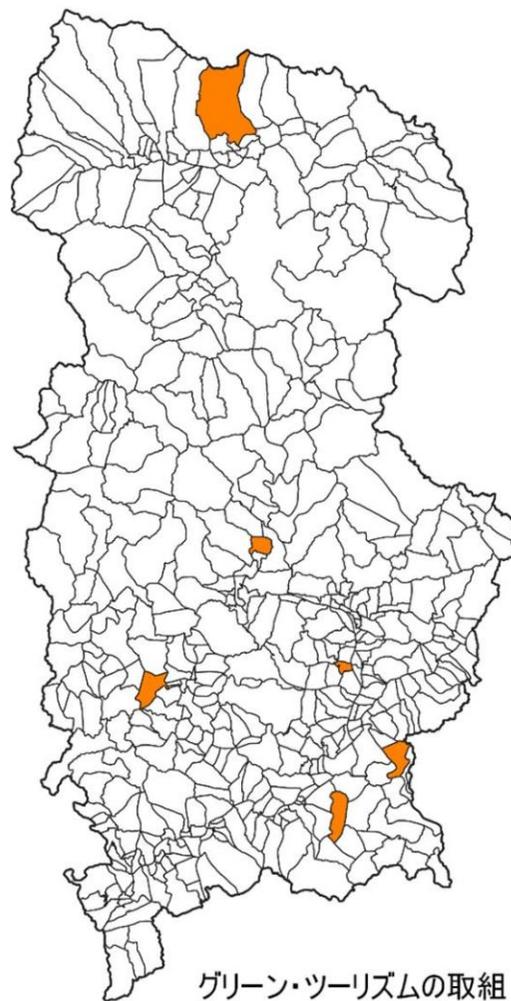
・行っている地域活動について、環境美化・自然環境の保全、農業集落行事、集落内の福祉・厚生については多くの集落で活動が実施されている一方で、定住の推進、グリーン・ツーリズム、6次産業化等の取組を実施している集落は少数に留まっている状況。



定住を推進する取組

活動あり

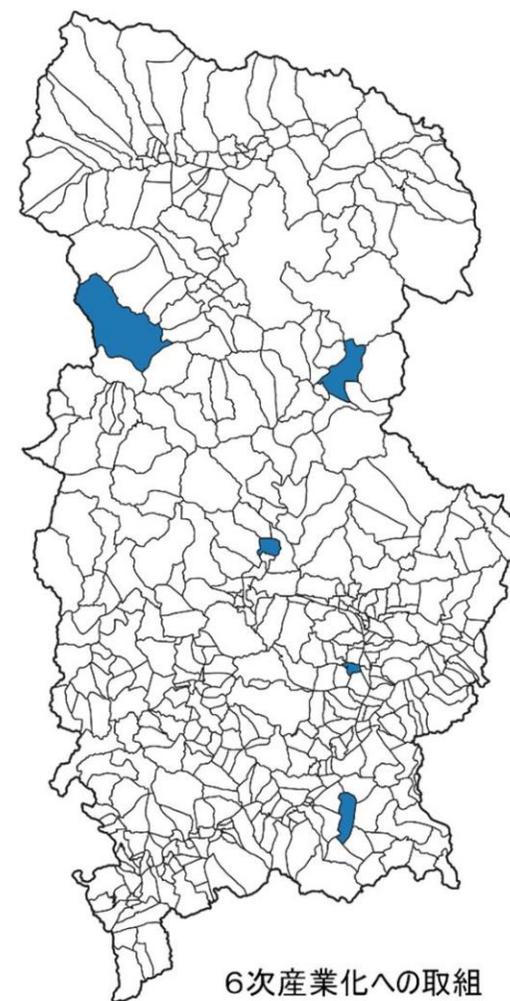
活動なし



グリーン・ツーリズムの取組

活動あり

活動なし



6次産業化への取組

活動あり

活動なし

出典：地域の農業を見て・知って・活かすDB
「地域調査_寄り合いの開催状況（2020年）」